

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式
信 託 期 間	無期限（2013年5月13日設定）
運 用 方 針	・主として先進国（日本を除く）の株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。 ・参考指標は、FTSE Kaigai（カイガイ）・インデックス（円換算ベース）とします。（2021年5月12日現在） ・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。 ・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。 ・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。 ・当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。
主 要 運 用 対 象	主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、先進国（日本を除く）の株式へ実質的に投資します。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。）に、配分方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。



運用報告書（全体版）

第8期

（決算日 2021年5月12日）

EXE-i 先進国株式 ファンド

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「EXE-i 先進国株式ファンド」は、
2021年5月12日に第8期決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

URL：<http://www.sbiasset.co.jp/>

EXE-i 専用Webサイト

URL：<http://www.sbiasset.co.jp/EXE-i/>

EXE-i Facebookページ

URL：<https://www.facebook.com/sbiasset/exi/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 標		投資信託証券 組 入 比 率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
4 期 (2017年 5 月12日)	15,361	0	24.1	15,862	24.0	99.6	5,636
5 期 (2018年 5 月14日)	16,899	0	10.0	17,565	10.7	99.4	7,316
6 期 (2019年 5 月13日)	17,112	0	1.3	18,121	3.2	99.6	8,480
7 期 (2020年 5 月12日)	16,001	0	△ 6.5	17,568	△ 3.1	99.7	8,772
8 期 (2021年 5 月12日)	24,308	0	51.9	26,095	48.5	99.5	14,116

(注 1) 参考指標はFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。
(注 2) 参考指標は設定日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 標		投資信託証券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2020年 5 月12日	16,001	—	17,568	—	99.7
5 月末	16,714	4.5	18,320	4.3	99.8
6 月末	17,181	7.4	18,702	6.5	99.4
7 月末	17,695	10.6	19,300	9.9	99.7
8 月末	18,928	18.3	20,814	18.5	99.8
9 月末	18,203	13.8	19,997	13.8	99.1
10月末	17,698	10.6	19,439	10.6	99.6
11月末	20,012	25.1	21,736	23.7	99.7
12月末	20,686	29.3	22,393	27.5	99.4
2021年 1 月末	21,216	32.6	22,899	30.3	99.8
2 月末	21,943	37.1	23,743	35.1	99.6
3 月末	23,526	47.0	25,252	43.7	99.2
4 月末	24,585	53.6	26,420	50.4	99.4
(期 末)					
2021年 5 月12日	24,308	51.9	26,095	48.5	99.5

(注 1) 騰落率は期首比です。
(注 2) 参考指標はFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (米ドルベース) を委託会社で円換算しています。

参考指標：「FTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス」
FTSE Kaigai (カイガイ)・インデックスとは、FTSE社が開発した指数で、日本を除く世界の主要国の株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。当ファンドでは、同指数を委託会社が円換算し参考指標としています。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2020年5月13日から2021年5月12日まで）

○基準価額等の推移



期 首：16,001円

期 末：24,308円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 51.9%

（注1）参考指標はFTSE Kaigai（カイガイ）・インデックス（米ドルベース）を委託会社で円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

（注2）参考指標は、2020年5月12日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・各国の行動制限等による新型コロナウイルス感染拡大の抑制が奏功したこと。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に対抗した各国の大規模な金融緩和策、財政刺激策。
- ・米大統領選でバイデン氏が勝利し米政局の不透明感が払拭されたこと。
- ・2020年12月ごろからの、新型コロナウイルス接種開始を受けた新型コロナウイルス大流行の収束と経済活動正常化への期待。

下落要因

- ・2020年9～10月ごろの欧米を中心とした新型コロナウイルス感染再拡大。
- ・2020年9～10月ごろの米大統領選を巡る不透明感。

○投資環境

＜先進国株式市場＞

期首は、3月までの新型コロナウイルス大流行による経済活動停止への懸念による大暴落からの株価回復を受け回復基調が続きました。その後も、各国の行動制限等による新型コロナウイルス感染拡大の抑制が奏功したこと、新型コロナウイルス感染拡大に対抗した各国の大規模な金融緩和策、財政刺激策が有効な対策として評価されたことなどから、世界的に堅調に推移しました。その後、昨年9～10月ごろの欧米を中心とした新型コロナウイルス感染再拡大、米大統領選を巡る不透明感などから株価は軟調となりました。しかしながら、米大統領選でバイデン氏が勝利し米政局の不透明感が払拭されたこと、昨年12月ごろからのワクチン接種開始を受けた新型コロナウイルス大流行への収束と経済活動正常化への期待により米国を中心として再び上昇基調となりました。しかしながら、年初来、ワクチン接種の普及や大型経済対策による先々の景気回復を織り込むかたちで米長期金利が上昇しはじめ、セクターや個別銘柄の物色動向に変化が見られましたが、先進国株式市場全体としては回復傾向を維持しています。その後も、米国などワクチン接種が急速に進む国々を中心に経済指標は改善傾向にあります。米国ではFRB（連邦準備制度理事会）が、金融緩和策の縮小を早期に実施するのではないかと観測も見られています。

以上、コロナ禍にあって、基調として景気回復への期待は維持され先進国の株式は全体として当期は上昇しました。

また、この間、金融緩和策、財政刺激策の規模の違い、ワクチン接種の普及速度の違いや経済回復予想の違いにより米国と欧州の市場の回復に顕著な格差が見られました。米国市場はいち早く新型コロナウイルス大流行前の株価水準を回復し主要指標が史上最高値を更新しました。一方、欧州株式市場はコロナ禍による被害が大きかったことや経済対策の規模が米国に比べ小さかったことなどから回復が遅れております。

さらに、セクターの物色動向も大きく変化しました。昨年はコロナ禍の恩恵を受けるオンライン小売や悪影響を受けにくいIT、超低金利によりバリュエーション評価が有利となったグロース株が買われました。しかしながら、今年に入って超低金利状態が修正される状況となると、グロース株が売られる一方、景気循環株などバリュエ株が買われる傾向が強まっております。今後の景気回復による需要増加への期待から素材株、エネルギー株が、金利上昇への期待から銀行株が買われております。

＜外国為替市場＞

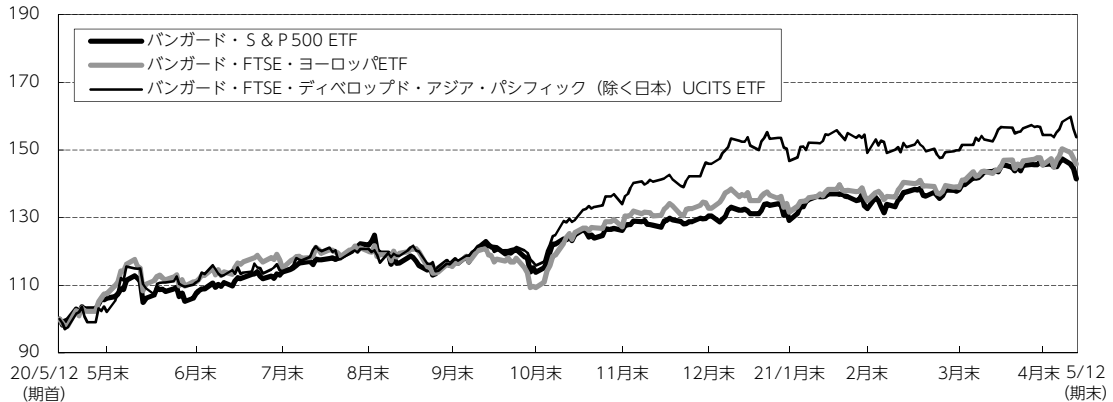
ドル／円は、期首から2020年いっぱい米国の積極的な金融緩和と超低金利状態の継続を受けて、米ドルからそれ以外の主要国通貨への資金流出傾向が続いたことなどから、緩やかな米ドル安円高傾向が続きました（投信協会レートで期初の107.52円から2020年末103.50円へ）。ユーロは新型コロナウイルス感染拡大によるいわゆるコロナショックから、期首頃までユーロ安円高が進んでいましたが、欧州復興基金の合意などにより欧州景気正常化への期待が強まったことから、ユーロ高米ドル安、ユーロ高円安傾向となりました。その他の先進国通貨（英国ポンド、豪ドル）などもコロナショックから立ち直るなか、米ドルに対し強含み、対円でも強含み傾向となりました。先進国主要通貨が米ドルに対し強含む傾向は、2020年10月から11月の欧米の新型コロナウイルス感染再拡大時に一時的に中断しましたが、それ以外の時期は当期は継続して見られました。

2021年に入り、米国をはじめとしたワクチン接種普及と有効性の確認により新型コロナウイルス大流行の収束が視野に入ると、米国の長期債利回りが上昇し、上昇期は1月から3月まで続きました（3月には米10年国債利回りは1.7%台半ば）。その間、米国金利の上昇を受け、米ドル円相場は金利差の拡大とともに米ドル安円高傾向

となり、4月初には一時110台を付けました。3月末にかけて、ワクチン接種普及によっても、コロナ禍による経済的打撃からの正常化は長期化するとの見方、FRBの金融緩和も長期化するとの見方が強まり、金利上昇は行き過ぎとの見方から米国金利は下落しました。その後は、4月に入り、米国をはじめインフレ指標の上昇により金利上昇見込みが再び強まり、金利の上昇見込みと低金利長期化の見方が拮抗するなか、期末にかけてレンジ（米国債利回りは1.5%～1.7%で推移）での横ばい推移となりました。このような状況下、米ドル円は108円前後から109円台でのレンジでの推移となり108.80円で当期を終えました。

米ドル以外の主要通貨については、米国がゼロ金利政策や過去に例を見ない積極的な金融緩和策を継続するなか、対米ドルで当期を通して強含みとなり、対円でも強含み傾向が持続しました。ユーロは132円台、英ポンドは153円台、豪ドルは85円台で期末を迎えました（期初は、ユーロは116円台、英ポンドは132円台、豪ドルは69円台）。

<組入投資信託証券の推移>



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注1) 期首を100として指数化しています。

(注2) 2021年2月より投資対象ファンドを以下のとおり変更しております。

(変更前)

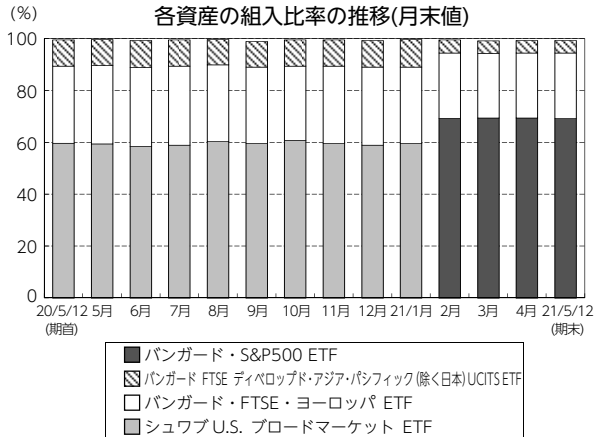
・シュワブU.S. ブロードマーケットETF

(変更後)

・バンガード S&P 500 ETF

(注3) 期末時点の各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

○当ファンドのポートフォリオ



モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、海外のETF（上場投資信託）への投資を通じて、先進国（日本を除く）の株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

なお、2021年2月より当ファンドの投資対象ファンドを以下のとおり変更いたしました。

(変更前)

・シュワブU.S. ブロードマーケットETF

(変更後)

・バンガード S&P 500 ETF

(注) 各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

【組入投資信託証券の資産構成比率】

	組入上位10カ国・地域	構成比率
1	米国	68.2%
2	英国	5.8%
3	スイス	3.9%
4	ドイツ	3.6%
5	フランス	3.6%
6	オランダ	2.2%
7	オーストラリア	2.0%
8	スウェーデン	1.7%
9	韓国	1.6%
10	アイルランド	1.3%

	組入上位10業種	構成比率
1	情報技術	21.6%
2	金融	13.5%
3	ヘルスケア	12.5%
4	一般消費財・サービス	12.3%
5	資本財・サービス	10.6%
6	コミュニケーション・サービス	9.1%
7	生活必需品	7.1%
8	素材	4.5%
9	エネルギー	3.0%
10	公益事業	3.0%

	組入上位10銘柄	国	構成比率
1	アップル	米国	4.1%
2	マイクロソフト	米国	3.8%
3	アマゾン・ドット・コム	米国	2.9%
4	アルファベット	米国	2.8%
5	フェイスブック	米国	1.6%
6	テスラ	米国	1.1%
7	パークシャー・ハサウェイ	米国	1.0%
8	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	米国	0.9%
9	ジョンソン&ジョンソン	米国	0.9%
10	ビザ	米国	0.8%

出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

(注1) 2021年4月30日時点の比率です。

(注2) 当ファンドが投資する投資信託証券（ETF）の組入比率に基づき、加重平均して算出した値です。

(注3) 投資信託証券を通じて投資する株式の評価額合計に対する比率です。

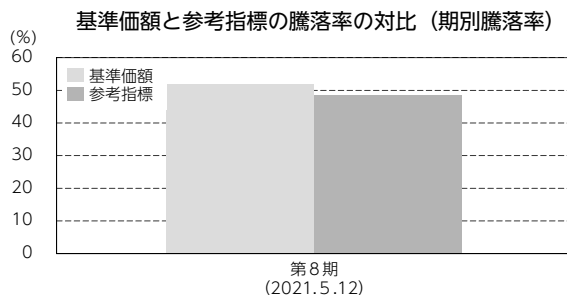
【組入投資信託証券の騰落率】

投資信託証券の名称	投資対象	通貨	当期の騰落率
バンガード・S&P500 ETF	米国の大型株式	米ドル	41.5%
バンガード・FTSE・ヨーロッパ ETF	欧州の大型株式	米ドル	45.9%
バンガード・FTSE・ディベロップド・アジア・パシフィック(除く日本) UCITS ETF	アジア・太平洋地域（日本を除く）の大型株式	米ドル	53.8%

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。



(注) 参考指標はFTSE Kaigai (カイガイ)・インデックス (円換算ベース) を使用しています。
詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期は基準価額等を勘案した結果、収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2020年5月13日～ 2021年5月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,307

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてETF(上場投資信託)への投資を通じて、先進国(日本を除く)の株式へ実質的に投資し、先進国(日本を除く)の株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 5 月13日～2021年 5 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	50 (22) (22) (7)	0. 253 (0. 110) (0. 110) (0. 033)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	2 (2)	0. 011 (0. 011)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0. 002 (0. 002)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	3 (2) (0) (0)	0. 013 (0. 011) (0. 002) (0. 000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	55	0. 279	
期中の平均基準価額は、19,865円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

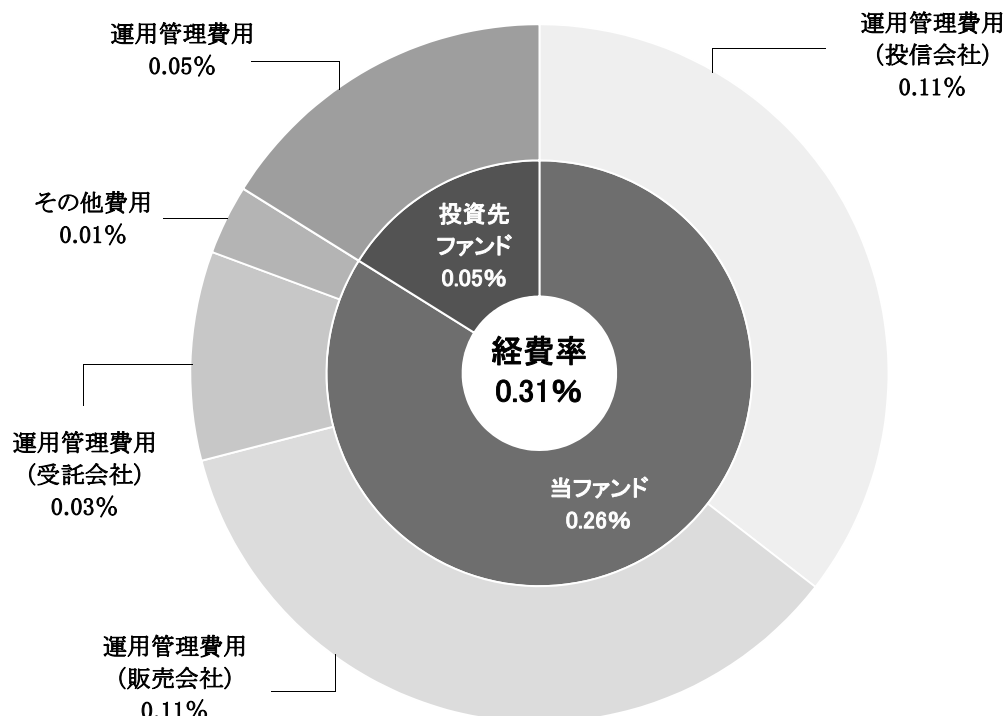
(注 4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は0.31%**です。



経費率 (①+②)	0.31%
①当ファンドの費用の比率	0.26%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費用の比率を乗じて算出した概算値です。

(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2020年5月13日～2021年5月12日)

投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	口	千ドル	口	千ドル
		SCHWAB US BROAD MARKET ETF	65,913	3,688	103,922	6,417
		VANGUARD FTSE ASIA PAC EX JP	67,404	5,403	773,591	74,340
		VANGUARD S&P 500 ETF	39,136	1,023	244,184	7,548
			236,156	85,321	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2020年5月13日～2021年5月12日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2021年5月12日現在)

外国投資信託証券

銘 柄 名		当 期 末		
		口 数	評 価 額	
			外貨建金額	円換算金額
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	490,523	32,820	3,570,913	25.3
VANGUARD FTSE ASIA PAC EX JP	195,327	6,279	683,211	4.8
VANGUARD S&P 500 ETF	236,156	89,942	9,785,730	69.3
合 計	922,006	129,042	14,039,855	99.5

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2021年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	14,039,855	99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	113,646	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	14,153,501	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産（14,039,965千円）の投資信託財産総額（14,153,501千円）に対する比率は99.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、5月12日における円換算レートは、1ドル＝108.80円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	14,153,501,376円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	113,646,153
投資信託受益証券(評価額)	14,039,855,223
(B)負 債	37,492,795
未 払 解 約 金	21,647,347
未 払 信 託 報 酬	15,735,139
未 払 利 息	309
そ の 他 未 払 費 用	110,000
(C)純 資 産 総 額(A－B)	14,116,008,581
元 本	5,807,186,484
次 期 繰 越 損 益 金	8,308,822,097
(D)受 益 権 総 口 数	5,807,186,484口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	24,308円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	5,482,771,883円
期中追加設定元本額	1,420,223,065円
期中一部解約元本額	1,095,808,464円

○損益の状況 (2020年5月13日～2021年5月12日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	182,879,610円
受 取 配 当 金	192,476,404,783
受 取 利 息	8,943,688,051
支 払 利 息	△201,237,213,224
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	4,145,587,696
売 買 益	4,434,306,721
売 買 損	△ 288,719,025
(C)信 託 報 酬 等	△ 29,973,606
(D)当期損益金(A+B+C)	4,298,493,700
(E)前期繰越損益金	279,510,889
(F)追加信託差損益金	3,730,817,508
(配 当 等 相 当 額)	(2,917,874,883)
(売 買 損 益 相 当 額)	(812,942,625)
(G) 計 (D+E+F)	8,308,822,097
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	8,308,822,097
追 加 信 託 差 損 益 金	3,730,817,508
(配 当 等 相 当 額)	(2,917,874,883)
(売 買 損 益 相 当 額)	(812,942,625)
分 配 準 備 積 立 金	4,578,004,589

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(181,611,726円)、費用控除後の有価証券等損益額(3,484,161,425円)、信託約款に規定する収益調整金(3,730,817,508円)および分配準備積立金(912,231,438円)より分配対象収益は8,308,822,097円(10,000口当たり14,307円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・S&P 500 ETF	米国の大型株式	S&P 500 インデックス	0.03%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Apple Inc.	5.8%
Microsoft Corp.	5.3%
Amazon.com Inc.	4.2%
Facebook Inc. Class A	2.2%
Alphabet Inc. Class A	2.0%
Alphabet Inc. Class C	1.9%
Tesla Inc.	1.5%
Berkshire Hathaway Inc. Class B	1.5%
JPMorgan Chase & Co.	1.3%
Johnson & Johnson	1.2%

組入上位業種	比率
情報技術	26.7%
ヘルスケア	12.8%
一般消費財	12.7%
金融	11.4%
通信サービス	11.2%
資本財・サービス	8.7%
生活必需品	6.0%
素材	2.7%
エネルギー	2.7%
公益事業	2.6%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2021年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・ヨーロッパ ETF	欧州の大型株式	FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックス	0.08%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Nestle SA	2.7%
ASML Holding NV	2.1%
Roche Holding AG	1.8%
LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.5%
Novartis AG	1.4%
SAP SE	1.3%
AstraZeneca plc	1.1%
HSBC Holdings plc	1.0%
Siemens AG	1.0%
Novo Nordisk A/S Class B	1.0%

組入上位業種	比率
資本財・サービス	17.2%
金融	16.3%
一般消費財	13.7%
ヘルスケア	13.2%
生活必需品	10.9%
テクノロジー	7.3%
素材	6.6%
エネルギー	4.8%
公益事業	4.1%
電気通信サービス	3.1%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2021年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード FTSE ディベロップド・アジア・パシフィック(除く日本)UCITS ETF	アジア・太平洋地域 (日本を除く)の大型株式	FTSE ディベロップド・アジア・ パシフィック(除く日本)インデックス	0.15%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Samsung Electronics Co. Ltd.	10.1%
AIA Group Ltd.	4.5%
Commonwealth Bank of Australia	3.6%
BHP Group Ltd.	3.2%
CSL Ltd.	2.8%
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd.	2.3%
Westpac Banking Corp.	2.1%
National Australia Bank Ltd.	2.0%
Australia & New Zealand Banking Group Ltd.	1.8%
SK Hynix Inc.	1.7%

組入上位業種	比率
金融	26.5%
テクノロジー	18.7%
一般消費財	10.4%
素材	10.3%
資本財・サービス	9.7%
不動産	7.6%
ヘルスケア	6.4%
生活必需品	4.2%
公益事業	2.5%
エネルギー	2.2%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2021年4月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第8期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。